

施策評価調書 目標年度(27年度)実績

施策コード I-4-(1)

政策体系	施策名	安心して質の高い医療サービスの充実	所管部局名	福祉保健部	長期総合計画(プラン2005)頁	41
	政策名	医療の充実と健康づくりの推進	関係部局名	福祉保健部、病院局		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	医療提供体制の充実	医師確保・へき地医療等の充実・強化	救急医療等の充実	県立病院のさらなる機能強化

【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する 取組No.	基準値		目標年度(27年度)			目標達成度(%)							
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	25	50	75	100	125			
i	地域医療支援病院数(か所)	①	H16	2	10	11	110.0%								
ii	病院機能評価認定病院数(か所)	①	H16	16	50	45	90.0%								
iii	公設へき地診療所への医師の配置率(%)	②	H17	83.3	100.0	100.0	100.0%								
iv	大分DMAT隊員登録者数(人)	③	H19	103	300	430	143.3%								
v	県立病院における地域医療支援病院の承認要件(%)	紹介率	④	H16	40.8	60.0	66.5	110.8%							
		逆紹介率	④	H16	17.0	70.0	82.5	117.9%							

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等			平均評価	
i	達成	地域医療を担うべき病院について、適宜制度説明や承認に向けての助言等を行い、目標値を達成した。			達成
ii	概ね達成	立入検査等の際に、医療の質の向上という観点からの第三者評価の重要性等を説明すること等により、目標値を概ね達成した。			
iii	達成	自治医科大学卒業医師の配置により、目標値を達成した。			
iv	達成	大分DMAT隊員となる医師等に対する養成研修を実施したことにより、目標値を達成した。			
v	達成	地域の医療機関との連携を図り、平成21年4月に受けた地域医療支援病院の承認を維持し(承認要件: 紹介率80%以上、または紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上、または紹介率50%以上かつ逆紹介率70%)、目標値を達成した。			

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・在宅医療提供体制構築のための取組を行う団体等に対する助成を実施した。また、在宅医療に関する各職種の取組の成果を共有を図るため、先進的な取組に関して発表するフォーラムを開催した。 大分県在宅医療推進フォーラム H27.11月実施(参加者445人)
②	・無医地区等の住民の受療機会の確保に向けて、へき地医療拠点病院による巡回診療等医療活動に対する支援を行った結果、巡回診療や代診医等の派遣が409回実施され、地域の実情に応じたへき地医療が確保された。
③	・大分県ドクターヘリの基地病院である大分大学医学部附属病院にヘリの格納庫を整備したことにより、機体の整備環境が改善され、また、台風等の悪天候の場合でも一時退避が不要となり、運航体制が強化された。 ドクターヘリ格納庫整備事業 H27.11月完了
④	・前年度に策定した第三期中期事業計画に基づき、急性期病院としての基盤づくりを推進すると共に、大規模改修工事や病院総合情報システムの更新に着手するなど、県民医療の基幹病院としての体制整備の強化を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価
			総合評価
①	在宅医療連携拠点体制整備事業	94,217	B
②	ドクターヘリ運航事業	392,557	A
③	県立病院対策事業	1,390,764	A

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○医療計画策定協議会(H27.8)</p> <p>・高齢者が集中する慢性期や在宅医療において、医療の質が低下しないように。</p>	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	成果と今後の施策展開
A	<p>・在宅医療推進フォーラムの実施により、多職種の先進事例や好事例の共有につながった。今後も、市町村をまたがる広域的な在宅医療の取組の支援を図る。</p> <p>・ヘリ3機体制の安定的な運航を支援するとともに、災害・救急医療に対する研修・訓練等を実施し、広域救急医療体制の充実を図る。</p> <p>・医療を必要とする人が、どこに住んでいても適切なサービスを受けられるよう、引き続き救急医療、へき地医療の充実を図るとともに、大分大学医学部附属病院等との協力により県内の医師の適正な確保・配置を図る。</p> <p>・医療の質を確保しながら、堅実な資金管理の下に大規模改修工事等の大型事業を実施していくことで、県民医療の基幹病院としての役割を果たす。</p>